



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年2月8日

上場会社名 株式会社ナフコ

上場取引所 JQ

コード番号 2790

URL <http://www.nafco.tv>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）深町 勝義

問合せ先責任者（役職名）常務取締役経理部長（氏名）村岡 莞二

TEL (093)521-7030

（百万円未満切捨て）

1. 平成20年3月期第3四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

(1) 経営成績（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	152,720	1.0	10,839	△7.9	11,057	△7.5	5,953	△8.3
19年3月期第3四半期	151,138	1.5	11,765	12.4	11,951	11.2	6,490	16.1
（参考）19年3月期	194,748		12,351		12,686		6,896	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	200	09	199	97
19年3月期第3四半期	218	14	217	99
（参考）19年3月期	231	79	231	63

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	164,063		93,948		57.3	3,157	46	
19年3月期第3四半期	157,576		88,505		56.2	2,974	51	
（参考）19年3月期	154,305		88,904		57.6	2,987	95	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	7,450		△6,230		3,085		17,161	
19年3月期第3四半期	13,834		△6,179		3,722		16,451	
（参考）19年3月期	13,178		△8,255		2,859		12,856	

2. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】
(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 196,000 0.6	百万円 % 12,400 0.4	百万円 % 12,700 0.1	百万円 % 7,000 1.5	円 銭 235 25

3. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成19年11月16日付「平成20年3月期中間決算短信(非連結)」にて公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を修正しております。
- 業績の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項の詳細については、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、引き続き堅調な企業収益を背景とした設備投資により、緩やかな景気の成長を継続しております。しかしながら、米国における信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題により、株式市場の大幅調整、原油価格の高騰、さらには一部原材料価格の上昇も加わり、景気の下振れリスクが懸念される状況となっております。

家具・ホームセンター業界におきましては、同業種及び異業種を含めた企業間の競争が激化するなか、依然として厳しい経営環境が続いております。このような状況の中で当社は、経営基盤の強化のため積極的な店舗展開に取組み、15店舗の新規出店をいたしました。さらには、「お客様満足度100%」の経営理念の下、現場・店舗におけるお客様志向の徹底にも取り組んでまいりました。また、「資材・DIY・園芸用品」「生活用品」「家具・ホームファッション用品」の3本柱を中心とした商品力の強化、当社オリジナル商品である「良品得価」や月間奉仕品である「厳選特価」を中心としたEDLP(エブリデーロープライス)政策の浸透をさらに推進してまいりました。加えて業務改善による効率化の徹底により経費の抑制も同時に取り組んでまいりました。しかしながら、天候不順が続いたことやサブプライムローンに端を発する株式市況の調整や原油価格の高騰、建築基準法の改正に伴う新設住宅件数の減少などの外部要因に加え、新規出店に伴う費用を吸収できなかったことなどもあり、大変厳しい状況となっております。

売上高は、オーバスタアによる異業種との競争激化に伴い、既存店売上高の伸びが低下しており、全店ベースでは前年同期比1.0%の微増となりました。また、売上総利益率は、EDLP政策の推進、値入率の改善等により前年同期比0.2ポイント増加の31.9%となりました。しかしながら、経費においては、新規出店に伴う費用の増加等も加わり経費率が前年同期比0.9ポイント増加の24.8%と上昇し、そのため、前期に比べ利益が減少する結果となりました。

以上により、当第3四半期は、売上高1,527億20百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益108億39百万円(前年同期比7.9%減)、経常利益110億57百万円(前年同期比7.5%減)、四半期純利益59億53百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前期末に比べ97億57百万円増加し、1,640億63百万円となりました。また、純資産は50億43百万円増加して、939億48百万円となり、自己資本比率は57.3%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、74億50百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益108億21百万円、仕入債務の増加額39億28百万円に対し、法人税等の支払57億09百万円、たな卸資産の増加26億68百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、62億30百万円となりました。この主な要因は、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出56億53百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、30億85百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加34億円や長期借入れによる収入27億円等によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末の残高は、171億61百万円となり、前期末に比べ43億05百万円増加いたしました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成19年11月16日付「平成20年3月期中間決算短信(非連結)」にて公表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(単位百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	201,000	13,368	13,742	7,200	241円98銭
今回修正予想(B)	196,000	12,400	12,700	7,000	235円25銭
増減額(B-A)	△5,000	△968	△1,042	△200	—
増減率(%)	△2.5	△7.2	△7.6	△2.8	—
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	194,748	12,351	12,686	6,896	231円79銭

(修正の理由)

当社の業績は、天候不順に加え、ドラッグストアやディスカウントストア等の異業種との競争が熾烈を極めており、中間決算時においても当初予想との乖離が懸念されておりました。当社の売上規模を大きく左右する第3四半期の業績いかんでは挽回の可能性を残しておりましたが、サブプライムローンに端を発する株式市況の調整に伴う消費マインドの冷え込みや原油価格・原材料の高騰、建築基準法改正に伴う新設住宅着工件数の減少等の影響で売上高の当初予想の達成が厳しい状況となっております。また、新規出店に伴う費用の増加等も加わり、業績予想より売上・利益とも下振れする見込みでありますので、修正を行うものであります。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、法定実効税率を基礎とした年間予測税率により計算しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

平成19年度法人税法改正に伴い、当第1四半期より平成19年4月1日以降に取得した資産については、改正後の法人税法に定める方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 平成19年3月期末	
	金額	金額	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)				%		%
I 流動資産						
現金及び預金	20,588	20,084	△503		15,932	
売掛金	1,449	1,507	57		1,672	
たな卸資産	44,895	46,507	1,612		43,839	
その他	2,012	2,090	77		2,049	
貸倒引当金	△20	△14	6		△17	
流動資産合計	68,925	70,176	1,250	1.8	63,476	41.1
II 固定資産						
有形固定資産	76,058	79,740	3,682		77,079	
無形固定資産	1,403	1,548	145		1,452	
投資その他の資産	11,188	12,597	1,408		12,297	
固定資産合計	88,650	93,887	5,236	5.9	90,829	58.9
資産合計	157,576	164,063	6,487	4.1	154,305	100.0
(負債の部)						
I 流動負債						
支払手形	18,983	18,784	△199		16,458	
買掛金	15,019	14,436	△582		12,834	
短期借入金	10,030	13,430	3,400		10,030	
1年以内返済予定の長期借入金	2,883	1,921	△961		2,483	
その他	11,099	9,724	△1,374		12,895	
流動負債合計	58,015	58,297	281	0.5	54,701	35.5
II 固定負債						
長期借入金	6,024	6,655	630		5,560	
退職給付引当金	3,323	3,305	△18		3,332	
役員退職慰労引当金	1,462	1,616	154		1,566	
その他	245	240	△5		240	
固定負債合計	11,055	11,817	761	6.9	10,699	6.9
負債合計	69,071	70,114	1,043	1.5	65,401	42.4

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 平成19年3月期末	
	金額	金額	金額	増減率	金額	構成比
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金	3,521	3,521	—	—	3,521	2.3
2 資本剰余金	4,206	4,206	—	—	4,206	2.7
3 利益剰余金	80,621	86,133	5,511	6.8	81,027	52.5
4 自己株式	—	△0	△0	—	—	—
株主資本合計	88,350	93,862	5,511	6.2	88,756	57.5
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	154	86	△68	△44.1	148	0.1
評価・換算差額等合計	154	86	△68	△44.1	148	0.1
純資産合計	88,505	93,948	5,443	6.2	88,904	57.6
負債純資産合計	157,576	164,063	6,487	4.1	154,305	100.0

(注) 百万円未満は切捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 平成19年3月期	
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額	百 分 比
				%		%
I 売上高	151,138	152,720	1,582	1.0	194,748	100.0
II 売上原価	103,257	104,076	819	0.8	133,412	68.5
売上総利益	47,881	48,644	763	1.6	61,336	31.5
III 販売費及び一般管理費	36,115	37,804	1,689	4.7	48,984	25.2
営業利益	11,765	10,839	△926	△7.9	12,351	6.3
IV 営業外収益	491	641	149	30.5	737	0.4
V 営業外費用	306	424	117	38.6	402	0.2
経常利益	11,951	11,057	△894	△7.5	12,686	6.5
VI 特別利益	70	3	△66	△94.9	196	0.1
VII 特別損失	1	239	237	—	440	0.2
税引前四半期(当期)純利益	12,019	10,821	△1,198	△10.0	12,443	6.4
税金費用	5,529	4,867	△661	△12.0	5,546	2.9
四半期(当期)純利益	6,490	5,953	△537	△8.3	6,896	3.5

(注) 百万円未満は切捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	12,019	10,821	12,443
減価償却費	2,420	2,624	3,292
減損損失	1	98	249
無形固定資産償却額	92	103	125
長期前払費用償却額	55	49	73
有形固定資産除却損	—	140	48
無形固定資産除却損	—	—	0
有形固定資産売却益	—	—	△0
有形固定資産売却損	—	0	—
貸倒引当金の増加額	—	5	9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52	△26	60
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△35	35
役員退職慰労引当金の増加額	45	50	149
賞与引当金の増減額(△は減少)	△415	△443	17
受取利息及び受取配当金	△15	△34	△21
支払利息	204	221	264
売上債権の増加額	△714	△478	△354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△421	△2,668	634
仕入債務の増加額	5,250	3,928	540
未払消費税等の増減額(△は減少)	557	△355	582
その他資産の増加額	△122	△118	△64
その他負債の増減額(△は減少)	554	△503	889
役員賞与の支払額	△35	—	△35
小 計	19,528	13,378	18,939
利息及び配当金の受取額	12	31	16
利息の支払額	△219	△251	△291
法人税等の支払額	△5,486	△5,709	△5,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,834	7,450	13,178

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△5,870	△5,653	△7,844
有形固定資産の売却による収入	—	0	0
無形固定資産の取得による支出	△89	△199	△171
固定資産の除却に伴う支出	—	△101	△27
敷金・保証金の差入による支出	△160	△292	△242
敷金・保証金の回収による収入	43	128	50
貸付による支出	—	—	△500
その他の投資の増減額(△は増加)	△102	△112	479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,179	△6,230	△8,255
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増加額	3,300	3,400	3,300
長期借入れによる収入	3,500	2,700	3,500
長期借入金の返済による支出	△2,288	△2,166	△3,152
自己株式の取得による支出	—	△0	—
配当金の支払額	△788	△848	△788
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,722	3,085	2,859
IV 現金及び現金同等物の増加額	11,377	4,305	7,782
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,073	12,856	5,073
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	16,451	17,161	12,856

(注) 百万円未満は切捨てて表示しております。

(商品部門別売上高)

(単位：百万円)

商品部門別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		前年 同期比	(参考) 平成19年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
資材・DIY・園芸用品	56,149	37.2	56,917	37.3	101.4	71,350	36.6
生活用品	43,223	28.6	44,571	29.2	103.1	55,270	28.4
家具・ホームファッション用品	36,001	23.8	35,743	23.4	99.3	47,601	24.5
その他	15,763	10.4	15,488	10.1	98.3	20,526	10.5
合計	151,138	100.0	152,720	100.0	101.0	194,748	100.0

(注) 1. 百万円未満は切捨てて表示しております。

2. 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品 (大工道具、建築金物、ペイント・ハケ、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材)

生活用品 (家庭用品、季節用品、収納用品、日用品、文具、履物、調理家電)

家具・ホームファッション用品 (家具、フローアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム)

その他 (カー用品、乗物、ペット用品、灯油他)

3. 平成19年4月1日より、(リフォーム)を「その他」の部門より「家具・ホームファッション用品」部門へ移行しております。なお、平成19年3月期第3四半期の(リフォーム)金額は687百万円であります。